



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【岩部クルーズの出航・・・】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う「緊急事態宣言」が全ての都道府県で五月二十五日(月)に解除され、徐々にではありますが、日常生活に戻る作業が各地で行われており、六月十九日(金)からは、都道府県をまたぐ移動が、全国的に緩和されることとなりました。

今年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響で暗い話題が多い中、今月号は久々に明るい話題を提供することができました。

六月一日(月)に、岩部漁港において岩部クルーズ運航の安全祈願祭が行われました。

天候に恵まれ、海鳥や沖のイルカたちも歓迎する中、今年初の船出をすることができました。

町では、岩部クルーズを委託運航している一般社団法人福島町まちづくり工房と協議し、六月一日(月)から二十日(火)までの期間、新型コロナウイルスによる全国的な緊急事態宣言を受けて、

町民の皆さまをはじめ、全ての方々が自粛を余儀なくされている状況を鑑み、少しでも前向きな気持ちになつていただきたい思いから、「福島町元氣プロジェクト」それ、福島町がおごります タダで楽しんで感無料」と銘打った、プロジェクトを企画いたしました。

第一弾として、岩部クルーズ、横綱記念館、青函トンネル記念館を無料で招待することといたしました。

全道版の新聞報道の影響もあり大変反響をいただき、多くの方々に福島町を知っていただく機会となりました。

この流れが七月につながることを期待し、第二弾の仕掛けを準備し、町のにぎわいにつながるよう頑張つてまいります。

昨年より本格的に参入したふるさと納税が、順調に納税額を増やしております。昨年度の一年間の寄付状況を見ますと、六〇三件、約八百七十七万円でしたが、今年度は四

月から五月末までの二か月間で、すでに二七八件、三百八十九万円に達しており、一件あたりの寄付額も、昨年の約三倍となっております。

まだまだ先進市町村には遠く及びませんが、地元特産品の消費拡大に寄与できるよう取り組むとともに、今後もウニ塩水パックや陸上養殖蝦夷アワビなど、魅力ある商品開発に努め、ふるさと納税額の増加を図ってまいります。

福島町の夏の風物詩となつている九重部屋の夏合宿ですが、一昨年の中止を経て、昨年復活することができ、町民の皆さまに九重部屋力士の迫力ある稽古を見ていただきましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、野球、サッカー、大相撲など、あらゆるスポーツが開幕の延期などの影響を受けております。

大相撲でも夏場所が恒例の愛知県名古屋市から東京都の両国国技館へ変

更となり、実施時期も大幅にずれ込んでおります。先般、九重親方から連絡があり、今年は福島町での夏合宿を中止する旨の連絡をいただきました。

楽しみにしていた相撲ファンの方々を思うと非常に残念ではありますが、このような状況ですのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、来年の夏に元気な姿で来町していただけることを期待し、九重部屋力士へのテレビ観戦での声援をお願いいたします。

早いもので今年も半年が経過しようとしております。この半年は、新型コロナウイルスとの戦いでしたが、後半の半年は厳しい経済低迷との戦いとなります。

国からの情報にアンテナを高くし、スマートフォンを最大限に活用し、素早い対応で、地域経済の命を守るため奮闘してまいります。気持ちだけは明るく、元気に前向きでありたいものです。